

2023年度

(対象期間：2023年7月～2024年6月)

環境経営レポート

作成日：2024年7月10日

有限会社ゴダイユ

目 次

環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	3
組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4
対象範囲（認証・登録範囲）・・・・・・・・	5
環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・	8
環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・	9
環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・	10
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・	11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無・・	12
代表者による全体の評価と見直し・指示・・・・・・・・	12

環境経営方針

当社は、「豊かな環境と人に優しい社会づくりを目指す。」を理念とし、当社の主要事業である産業廃棄物の収集・運搬、中間処理を通じ次世代の子供たちのため地域社会に貢献することで、循環型社会の構築を目指します。

1. エコアクション21ガイドラインに準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境関連の法規、条例等の規則を遵守するとともに、地域、業界、顧客の環境関連要求事項に配慮し、環境経営活動の継続的な改善を図ります。
2. 環境経営目標及び行動計画として下記の重点項目を設定し、改善することで環境負荷の低減に取り組みます。
 - 1) 二酸化炭素排出量削減のため省エネルギーの推進
 - 2) 廃棄物の徹底的な分別による3Rの推進
 - Reduce リデュース：減らす
 - Reuse リユース：繰り返し使う
 - Recycle リサイクル：再資源化
 - 3) 水の適正使用により節水に努めます
 - 4) 苦情、事故防止に努めます
 - 5) 地域貢献活動を積極的に取組ます

制定日：2012年1月1日

改訂日：2019年7月1日

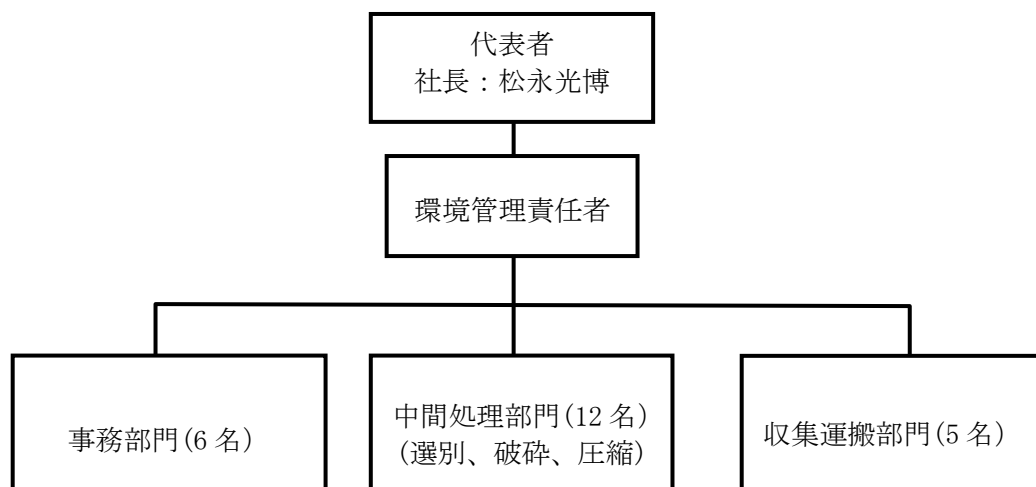
有限会社ゴダイユー

代表取締役 松永光博

1. 組織の概要

事業年度：2023 年 7 月～2024 年 6 月

(1) 事業所名 代表者氏名	有限会社ゴダイユー 代表取締役 松永光博
(2) 所在地	■本社・第一工場 福岡県みやま市瀬高町下庄 444 番地の 1 ■第二工場 福岡県みやま市瀬高町下庄 529 番地の 1
(3) 環境管理責任者氏名 及び担当者連絡先	事務部門：田中 絵里佳 T E L ：0944－63－3554 F A X ：0944－63－2943 メールアドレス：info@godaiyu47012.com
(4) 事業の内容	■第一工場 ・産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物処分業(選別、破碎、圧縮、圧縮梱包、切断) ・一般廃棄物処理業(収集・運搬) ・一般廃棄物処理業(破碎) ■第二工場 ・産業廃棄物処分業(選別)
(5) 事業の規模	・法人設立年月日：平成 6 年 3 月 23 日 ・資本金 ：3 百万円 ・売上高 ：491 百万円(2023 年度) ・従業員数 ：24 名 ・事業所延べ面積：2,566 m²
(6) 実施体制図	



2. エコアクション21 認証・登録範囲 全社、全組織、全活動

3. 許可の内容

3.1 産業廃棄物収集・運搬

県及び市	区分	許可年月日 有効期限年月日	許可 番号	許可品目
福岡県	積替え 保管無	令和2年5月1日 令和7年4月30日	040000 47012	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く)、燃え殻、廃油、紙くず、汚泥、廃酸、廃アルカリ、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ばいじん、ゴムくず、鋳さい、がれき類、(廃プラスチック類、ガラスくず等、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類については石綿含有産業廃棄物を含む)(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等については、水銀使用製品産業廃棄物を含む)
熊本県	積替え 保管無	令和2年6月2日 令和7年6月1日	043050 47012	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、動植物性残さ、鋳さい、ばいじん、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、がれき類、廃プラスチック類(これらのうち自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
佐賀県	積替え 保管無	令和2年6月30日 令和7年6月29日	041010 047012	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鋳さい、がれき類及びばいじん並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。)
長崎県	積替え 保管無	令和3年5月6日 令和8年5月5日	042000 47012	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。)

3.2 産業廃棄物処分業

県及び市	区分	許可年月日 有効期限年月日	許可 番号	許可品目	処理能力
福岡県	中間処理 (選別)	令和4年7月 22日 令和9年7月 21日	040200 47012	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類	選別施設①(第二工場) 18 t/日(8時間) 選別施設②(第一工場) 26.2 t/日(8時間)
	中間処理 (破砕、移動式を含む)			木くず 繊維くず	3.7 t/日(8時間) 1.21 t/日(8時間)
	中間処理 (圧縮)			廃プラスチック類(自動車等破砕物を除き、軟質系に限る)、紙くず	1.92 t/日(8時間)

	中間処理 (圧縮梱包)			廃プラスチック類（自動車等破砕物を除き、軟質系に限る）、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く）	322 t / 日 (8 時間)
福岡県	中間処理 (破砕)	令和 4 年 7 月 22 日 令和 9 年 7 月 21 日	040200 47012	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、紙くず、繊維くず、ゴムくず	廃プラスチック類：2.15 t / 日 紙くず：3.3 t / 日 繊維くず：2.97 t / 日 ゴムくず：2.39 t / 日 (8 時間)
	中間処理 (切断)			廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず	廃プラスチック類：17.8 t / 日 紙くず：15.2 t / 日 木くず：28 t / 日 繊維くず：6.11 t / 日 ゴムくず：26.5 t / 日 (8 時間)

3.3 一般廃棄物処理業

県及び市	区分	許可年月日 有効期限年月日	許可 番号	許可区域	取扱廃棄物名
みやま市	収集・運搬	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	第 5 号	みやま市内	事業系一般廃棄物
みやま市	処分業(破砕)	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	第 9 号	みやま市内	一般廃棄物 (草、木、繊維くず)

4. 施設の状況

4.1 車両及び施設

種 類	仕 様	台 数
収集・運搬車両	10 t	3 台
	8 t	3 台
	4 t	3 台
	3 t	7 台
	2 t	1 台
	1 t	1 台
	軽トラック	1 台
固定式木材破砕機	---	3 台
固定式破砕機	---	1 台
フォークリフト	---	8 台
油圧ショベル	---	13 台
プレス機(廃プラ・紙)	---	2 台

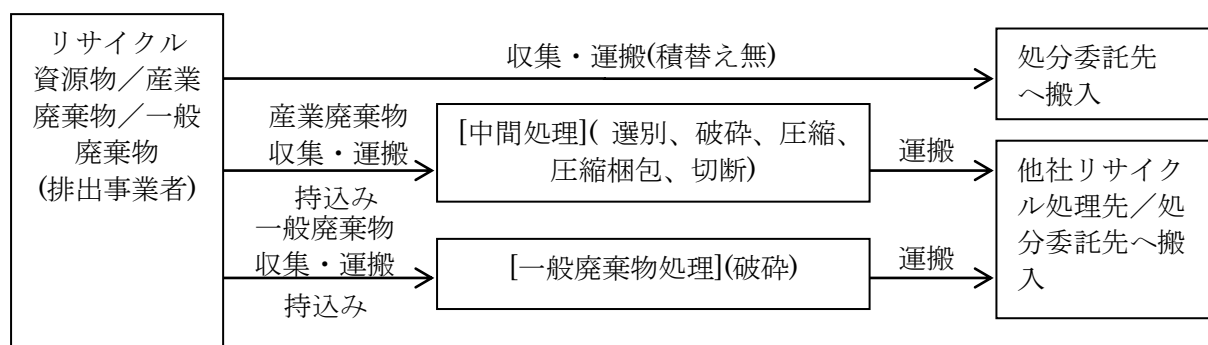
4.2 施設の種類

中間処理(選別、破碎、圧縮、圧縮梱包、切断)

4.3 処理する物品の種類及び処理能力

上記 3.2 項参照

4.4 処理工程図



5. 処理実績

①-1 一般廃棄物処理量 (2021 年度)

単位: t

品 目	収集運搬	中間処理	再資源化	最終処分
事業系 (生ごみ、紙くず類)	209.1			
木くず		168.4	168.4	0

①-2 産業廃棄物処理量 (2021 年度)

単位: t

品 目	収集運搬	中間処理	再資源化	最終処分
紙くず・木くず・廃プラ・繊維くず	3,768.7	10,813.6	7,420.8	1,567.5
不燃物 (がれき類、コンクリ、ガラス、陶磁器)	2,182.8	13,560	772.3	12,827.4
金属くず	254.9	619.7	619.7	0
廃石膏ボード	363.4	590.6	595.4	0

②-1 一般廃棄物処理量 (2022 年度)

単位: t

品 目	収集運搬	中間処理	再資源化	最終処分
事業系 (生ごみ、紙くず類)	247.5			
木くず		149.6	149.6	0

②-2 産業廃棄物処理量 (2022 年度)

単位: t

品 目	収集運搬	中間処理	再資源化	最終処分
紙くず・木くず・廃プラ・繊維くず	3,686.6	9,171.0	6,425.2	2,745.8
不燃物 (がれき類、コンクリ、ガラス、陶磁器)	2,209.0	11,005.1	1,003.9	10,001.2
金属くず	159.4	624.1	624.1	0
廃石膏ボード	417.6	669.6	669.6	0

③-1 一般廃棄物処理量（2023 年度）

単位：t

品 目	収集運搬	中間処理	再資源化	最終処分
事業系（生ごみ、紙くず類）	261.1			
木くず		175.6	175.6	

③-2 産業廃棄物処理量（2023 年度）

単位：t

品 目	収集運搬	中間処理	再資源化	最終処分
紙くず・木くず・廃プラ・繊維くず	3,323.4	8,154.2	3,427.8	2,552.3
不燃物（がれき類、コンクリ、ガラス、陶磁器）	1,531.4	8,202.5	776.5	7,426.0
金属くず	145.2	456	456	0
廃石膏ボード	251.1	501.3	501.3	0

6. 処理料金

個別契約により設定

7. 環境経営目標

当社はエコアクション 21 に基づく環境経営システムを構築し、以下の環境目標を定め達成に向けた活動に取り組んでいます。

環境目標	単位	2022 年度 (基準年：実績) (2022/7～2023/6)	2023 年度 (2023/7～2024/6)	2024 年度 (2024/7～2025/6)	2025 年度 (2025/7～2026/6)
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	462,401	461,939 以下 (2022 年度比 0.1%削減)	461,476 以下 (2022 年度比 0.2%削減)	461,014 以下 (2022 年度比 0.3%削減)
電力	kWh	32,176	32,144 以下	32,112 以下	32,079 以下
軽油	L	172,973	172,800 以下	172,627 以下	172,454 以下
ガソリン	L	545	544 以下	544 以下	543 以下
一般廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物排出量	t	0.114	0.114 以下 2022 年度実績以下	0.114 以下 2022 年度実績以下	0.114 以下 2022 年度実績以下
受託産業廃棄物の再資源化率向上					
受託産業廃棄物の再資源化率	%	37.9	38.3 以上 (1.0%向上)	38.7 以上 (2.0%向上)	39.0 以上 (3.0%向上)
水使用量の節減					
水使用量	m ³	25.6	25.6 以下 2022 年度実績以下	25.6 以下 2022 年度実績以下	25.6 以下 2022 年度実績以下
産業廃棄物、有価物収集運搬、中間処理に伴う苦情・事故の防止					
苦情・事故の件数	件	0 件	0 件以下	0 件以下	0 件以下
地域貢献活動実施					
会社周辺の清掃活動	回	2 回／月	会社周辺道路等の清掃 及び除草 2 回／月	会社周辺道路等の清掃 及び除草 2 回／月	会社周辺道路等の清掃 及び除草 2 回／月

基準年の温室効果ガス排出量の計算に使用した電力の排出係数は、2022 年度九州電力公表値 0.462 (kg-CO2/kWh) を使用。

8. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組項目		活動項目	
1	電気使用量の削減	1	エアコン設定温度(夏季：28±1 度／冬季：20±1 度)を決め、実行する
		2	エアコンは定期的にフィルターの清掃をする
		3	稼働時以外は照明、換気扇をこまめに消す
		4	OA 機器の省電力設定
2	燃料使用量の削減 (軽油、ガソリン、灯油)	1	積み込み時のアイドリングストップ(パッカー車積み込み時は除く)
		2	パッカー車積み込み時のムダまき禁止
		3	急発進、急ブレーキの抑制
		4	タイヤの空気圧チェック
		5	2000 回転以内の早めのシフトアップ
		6	信号などでの停止時のアクセル抑制(惰性運転)
		7	事前ミーティングによる走行ルート効率化
		8	日常点検、定期点検の実施
		9	各車両の走行距離、使用燃料の管理
		10	灯油式ストーブ設定温度(冬季：20±1 度)を決め、実行する。又、不要時はこまめに消す。

(2) 一般廃棄物排出量の削減

取組項目		活動項目	
1	一般廃棄物排出量の削減	1	社内一般廃棄物の分別徹底により資源物に回す
		2	パソコンから不要打出し制限(プレビュー確認)
		3	コピー紙の裏紙使用

(3) 受託産業廃棄物の資源化率向上

取組項目		活動項目	
1	受託産業廃棄物の資源化率向上	1	産業廃棄物の分別徹底による廃棄物削減
		2	廃棄物の物性確認による廃棄物発生の抑制
		3	リサイクルできる業者の把握と優先使用

(4) 水使用量の削減

取組項目		活動項目	
1	節水活動の実施	1	手洗い時の流しっぱなし禁止、流水調整
		2	各水道、トイレに節水の文字貼付
		3	洗車時、洗濯時の流しっぱなし禁止

(5) 産業廃棄物、有価物収集運搬、中間処理に伴う苦情・事故の防止

取組項目		活動項目	
1	苦情・事故の件数の削減	1	収集後の清掃徹底
		2	積荷の落下、飛散防止／パッカー車の場合作業は安全のため“厳守事項”徹底

(6) 地域貢献活動実施

取組項目		活動項目	
1	会社周辺道路等の清掃及び除草実施	1	会社周辺道路等の清掃及び除草

9. 環境経営目標実績及び活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

9.1 環境経営目標、実績

環境経営目標	単位	2022 年度 基準年 (2022/7～2023/6)	2023 年度 目標	2023 年度 実績	目標達成 の判定
二酸化炭素排出量の削減	k g -CO2	462, 401	461, 939 以下	425, 656	○
電力	kWh	32, 176	32, 144 以下	20, 548	○
軽油	L	172, 973	172, 800 以下	160, 880	○
ガソリン	L	545	544 以下	471	○
一般廃棄物排出量の削減					
廃棄物排出量	t	0. 114	0. 114 以下	0. 114	○
受託産業廃棄物の資源化率向上					
資源化率	%	37. 9	38. 3 以上	42. 4	○
水使用量の削減					
節水活動の実施	m ³	25. 6	25. 6 以下	23. 4	○
産業廃棄物、有価物収集運搬、中間処理に伴う苦情・事故の防止					
苦情・事故の件数	件	0	0 件以下	0	○
地域貢献活動実施					
会社周辺道路等の清掃及び除草	回	2 回／月	会社周辺道路等の清掃及び除草 2 回/月	会社周辺道路等の清掃及び除草 2 回/月	○

「○」・・・目標達成 「×」・・・目標未達成

基準年の温室効果ガス排出量の計算に使用した電力の排出係数は、2022 年度九州電力公表値 0. 462 (kg-CO2/kWh) を使用。

9.2 環境経営計画の取組結果と評価及び次年度取組内容

取組項目		活動計画の内容	2023 年度 取組結果	評価及び次年度 取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	エアコン設定温度(夏季: 28±1 度/冬季: 20±1 度)を決め、実行する	○	取り組みはほぼ出来ており、目標も達成している。 次年度も継続して計画通り取り組んでいく。
		エアコンは定期的にフィルターの清掃をする	○	
		稼働時以外は照明、換気扇をこまめに消す	○	
		OA 機器の省電力設定	○	
	燃料使用量の削減(軽油、ガソリン、灯油)	積み込み時のアイドリングストップ(パッカー車積み込み時は除く)	○	
		パッカー車積み込み時のムダまき禁止	○	
		急発進、急ブレーキの抑制	○	
		タイヤの空気圧チェック	○	
		2000 回転以内の早めのシフトアップ	○	
		信号などでの停止時のアクセル抑制(惰性運転)	○	
		事前ミーティングによる走行ルート効率化	○	
		日常点検、定期点検の実施	○	
		各車両の走行距離、使用燃料の管理	○	
		灯油式ストーブ設定温度(冬季: 20±1 度)を決め、実行する。又、不要時はこまめに消す。	○	
一般廃棄物排出量の削減	社内一般廃棄物の分別徹底により資源物に回す		○	目標達成、特に問題なし。次年度も計画通りに取り組んでいく。
	パソコンから不要打出し制限(レビュー確認)		○	
	コピー紙の裏紙使用		○	
受託産業廃棄物の資源化率向上	産業廃棄物の分別徹底による廃棄物削減		○	取り組みはきちんと出来ており、目標も達成している。 次年度も継続して取り組んでいく。
	廃棄物の物性確認による廃棄物発生の抑制		○	
	リサイクルできる業者の把握と優先使用		○	
水使用量の削減(節水活動の実施)	手洗い時の流しっぱなし禁止、流水調整		○	計画通りに実施出来ている。 次年度も計画通りに取り組んでいく。
	各水道、トイレに節水の文字貼付		○	
	洗車時、洗濯時の流しっぱなし禁止		○	
産業廃棄物、有価物収集運搬、中間処理に伴う苦情・事故の防止	収集後の清掃徹底		○	計画通りに実施出来ている。 次年度も計画通りに取り組んでいく。
	積荷の落下、飛散防止/パッカー車の場合作業は安全のため“厳守事項”徹底		○	
地域貢献活動実施	会社周辺道路等の清掃及び除草		○	

「○」: 実施 「×」: 未実施

10. 環境関連法規等の順守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

【環境関連法規等の遵守状況の主な確認結果】

法規等名	遵守事項	当社の遵守内容	遵守状況 確認・結果
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	一般廃棄物、産業廃 棄物収集運搬、処分 業許可	業許可証の維持	○
	管理表の適正処理	管理表の発行、保管	○
	産業廃棄物の適正処 理	飛散の防止、処理量基準 の遵守	○
	産業廃棄物収集運搬 車の表示等	運搬車の車体表示を行 い、車輛に書面(管理票、 許可証のコピー)を備え付 け	○
	収集運搬の許可区域	許可区域内で実施	○
家電リサイクル	リサイクル推進	該当がある場合は適正処 理	○
自動車リサイクル法	同上	同上	○
消防法	危険物(油等)の保管 限度量	点検実施(届出基準限度 以下で管理)	○

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

・評価

- ① 環境への取り組みは適切に実施されている。
- ② 決めたことは実行できている。
- ③ 全従業員が一丸となって、エコ活動に取り組んでいる。

・見直し・指示

- ① 2023 年に見直した 2022 年度基準の 2023 年度目標は達成した。
2024 年度もこの時見直した目標を使用する。
- ② 継続して全従業員が一丸となって、エコ活動に取り組むこと。
- ③ 継続して事故防止に取り組むこと。
- ④ 例年豪雨災害が発生する傾向にあり、行政からの対応要請等に対しても準備態勢を整えておく必要がある。